

宮臨技 第 191 号  
令和元年 6 月吉日

会員各位

(一社) 宮城県臨床検査技師会  
会長 藤巻 慎一  
第 51 回みやぎ医学検査学会  
学会長 藤巻 慎一  
実行委員長 小堺 利恵  
(公 印 省 略)

第 51 回みやぎ医学検査学会の開催について (御礼)

謹 啓

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素は当会に格別のご厚誼にあずかり、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび東北大学医学部百周年記念ホールにて開催いたしました第 51 回みやぎ医学検査学会では、御多忙中のところ、多くの一般会員、賛助会員、協賛企業、学生、大学教員等の皆様にご参加いただき、盛会裏に終了致しましたことをご報告させていただきます。誠にありがとうございました。

当日の参加人数は 302 名となり、多くの方々から活気のある、勉強になった学会だったとお褒めの言葉や學術部を中心とした実行委員および実務委員からも良い経験ができたとの感想をもらいました。

これもひとえに本学会テーマ「私は臨床検査技師 2 ～主体性×多様性×可能性～」に沿った内容の講演や RCPC を企画して頂いた講師の先生方、35 名もの一般演題の発表者や指導者の皆様、学会運営を支えて頂いた学会実行・実務委員の皆様、そして、学会場に来て参加して下さった一般会員および賛助会員ならびに協賛企業の皆様のお陰だと思っております。これを機に、より一層、(一社) 宮城県臨床検査技師会の學術活動が活発になっていくことを期待しております。

来年 4 月には、第 69 回日本医学検査学会 (福島県臨床検査技師会主催) が仙台市内で開催されます。是非、今回の発表内容をさらにブラッシュアップさせて、来年度の全国学会にも演題登録をして頂けますと良いかと思っております。

向暑のみぎり、皆様のご健康と益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

簡略ではありますが、書面にて御礼の言葉とさせていただきます。

謹 白